

# 中心市街地エリアビジョン（市民と共有する「L字ライン」の未来地図）

## 江戸期の歴史・文化を今に伝える「松江城周辺ゾーン」

- ・統一感のある歴史的街並みの保存と形成
- ・江戸期文化の発信と体験
- ・大手前駐車場の交流広場化

## 近代建築群を活かした、新たな挑戦が生まれる「殿町周辺ゾーン」

- ・近代建築物を巡るまち歩きエリア
- ・安心して歩ける歩行空間の創出
- ・空き地の有効活用推進
- ・魅力的な体験ができる目的地の創出

## 人が集い、湖畔を楽しむ「湖畔ゾーン」

- ・新庁舎と一体となった湖畔の整備
- ・日常的な水辺空間の利活用の推進
- ・松江しんじ湖温泉駅から殿町方面へ安全に歩くことができる歩道の整備
- ・健康づくりの活動拠点

## 歴史・文化を活かした、新たな挑戦が生まれる「白湯周辺ゾーン」

- ・遊休不動産を活用した多様なコンテンツの集積と世代間交流の促進
- ・安心して歩ける歩行空間の創出
- ・お茶や和菓子、蔵やお寺に親しむ機会の創出

## 全体コンセプト ～車中心から人中心のまちなかへ～

- ①豊かな日常の中に、松江ならではの歴史・文化が薫るまちなかへ
- ②歴史・文化・水辺を活かした、居心地が良く、年中歩きたくなるまちなかへ
- ③若い世代が活躍する松江のまちなかへ

## 「L字ライン」の骨格

- ①歴史・文化・水辺を活かす6つの交流ゾーン
- ②人々の交流を生む拠点
- ③各交流拠点を結び、ストーリー性のあるまち歩きルートと多様な移動手段

## L字ラインとの連携「総合体育館周辺ゾーン」

- ①幅広い世代が交流し、スポーツを楽しみ、緑に憩う、賑わいを創出する新たな拠点

## 幅広い世代が交流し、スポーツを楽しみ、緑に憩う「総合体育館周辺ゾーン」

- ▶スポーツや飲食・ショッピングを楽しめる賑わいの場の創出
- ▶新たなビジネスや交流が生まれる環境づくり
- ▶幅広い世代が憩い遊べるスペース、水辺空間の利活用の推進

- 交流拠点
- ▲ まち歩き動線

## 日常の営みが水面に映える「かわ・まち回遊ゾーン」

- ・水辺に親しむ空間づくり
- ・対岸から美しく映える街並みの形成
- ・日常的な水辺空間の利活用
- ・大橋川の水面を活用したアクティビティと水上交通の創出

## 多くの来訪者が憩い集う松江の玄関「松江駅周辺ゾーン」

- ・南北駅前広場の機能の再配置
- ・駅から歩きたくなる空間・店舗の繋ぎの創出
- ・伊勢宮町において、夜間の歩行者専用道路化
- ・市民が集う松江の食の台所

